

指導の手引き 11. 日常生活(2)

<b>racket</b>	ra にアクセント。keではない。	<b>ラケット</b>
英語らしい音を出すコツ	r で始まるので、舌先が上の歯の裏に付かないように意識する。コツとしては r の前にwがあるつもりで「(ウ) レアキト」のように発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	ラケットの種類を言うなら、テニスなら a tennis racket, バドミントンなら a badminton racket, 卓球なら a table tennis racket と、競技名を前に付けて言えばよい。	

<b>glove</b>	gではなく -love にアクセント。「グラブ」にならないように。	<b>グローブ</b>
英語らしい音を出すコツ	「ロー」ではなく、loveと同じように「グラブ」と発音する。最後の音は v なので、両唇を閉じずに下唇に上の歯を当て「ヴ」と発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	手袋も gloves という。両手分をまとめて話題にするときには boots と同様に複数形にして、Doctors wear plastic gloves. のように使う。	

<b>bat</b>		<b>バット</b>
英語らしい音を出すコツ	日本語の外来語としては「バット」と表記するが、英語としては、この a は cat や hat と同じ「エ」と「ア」の中間の音なので、「ベアト」のつもりで発音するのが原音に近い。なお、最後の t は舌先が上の歯の裏について止める。「ト」にならないように注意。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。複数形は語尾の -ts を「ツ」のように発音する。	
文化的な情報、応用表現など	動物のコウモリも同じ発音、同じつづり。	

<b>drum</b>	「d」ではなく、-rum にアクセント。「ドラム」にならないように。	<b>太鼓</b>
英語らしい音を出すコツ	d と r の間に母音を入れないように、少し「デュラム」に近い音にする。母音は、bus や cup と同じように口の中央で軽く発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。複数形は語尾の -s を「ス」ではなく、有声音（濁音）の「ズ」で発音するようにする。	
文化的な情報、応用表現など	I play the drums. のように言えば、ロックバンドなどのドラム奏者である。ブラスバンドや鼓笛隊の大太鼓は bass drum(ベース… と発音)、小太鼓は snare drum (スネア…と発音)。	

<b>guitar</b>	-tar にアクセント。	<b>ギター</b>
英語らしい音を出すコツ	uのつづりにつられて「グィ」と言うのは誤り。「ギ」と発音。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	「ギターの音色や曲が好き」と言いたいときは、I like a guitar. ではなく I like guitar music. とする。演奏できるときには I can play the guitar. のように、theを付けるのが正しい。	

<b>piano</b>	-a-にアクセント。	<b>ピアノ</b>
英語らしい音を出すコツ	aの音は、catやmapと同様、「エ」と「ア」の中間の音であるので、「ピエァノウ」と言うつもりで発音する。語尾のoは丸めて「ノウ」のように発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	「ピアノの音色や曲が好き」と言いたいときは、I like a piano. ではなく I like piano music. とする。演奏できるときには I can play the piano. のように、theを付けるのが正しい。	

<b>recorder</b>	-cor にアクセント。	<b>リコーダー</b>
英語らしい音を出すコツ	r で始まるので、舌先が上の歯の裏に付かないように意識する。コツとしては r の前にwがあるつもりで「(ウ) リコーダ」のように発音する。語尾の「ダー」が強すぎないように注意する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	「リコーダーの音色や曲が好き」と言いたいときは、I like a recorder. ではなく I like recorder music. とする。演奏できるときには I can play the recorder. のように、the を付けるのが正しい。	

<b>violin</b>	-lin にアクセント。	<b>バイオリン</b>
英語らしい音を出すコツ	最初の音は v なので、両唇を閉じずに下唇に上の歯を当て「ヴ」と発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	「バイオリンの音色や曲が好き」と言いたいときは、I like a violin. ではなく I like violin music. とする。演奏できるときには I can play the violin. のように、the を付けるのが正しい。	